

広島市安佐北区

亀山南学区自主防災会連合会

〈自分たちのまちは 自分たちで守ろう〉



亀山南学区自主防災活動の紹介

はじめに

- 私たちの地域では、15の自治会・町内会ごとにそれぞれ自主防災会を編成し、それぞれが地域の実情に沿った独自の活動を展開しています。
- 私たちの地域の地勢的特徴は、一言で言えば標高475米の螺山が生活圏の中心に聳え、南側は一級河川の太田川中流域に臨み、洪水や土砂災害に特別な注意が必要な地域といえます。



私たちを取り巻く災害の記録

自然に恵まれ、穏やかで住みやすかった私たちの地域も、昨今異常気象が原因と思われる局地的集中豪雨に見舞われる頻度が多くなりました。

この十年間に私たちの近隣を襲った顕著な土砂災害の記憶を風化させない為に、いくつかの代表的事例をご紹介します。

イ) 平成11年6月29日広島県西部地方を襲った集中豪雨は、佐伯区から安佐北区に亘る広範な地域に、数十カ所に及ぶ大規模な土砂災害をもたらしました。

私たちの地域から1 Kmも離れていない隣接した大毛寺川流域の勝木地区では4名の方々の尊い命を失いました。少し豪雨の中心がずれていたらと思うと他人事ではありません











以上の写真は安佐北消防署のご好意により提供頂きました。

□) 平成17年9月6日、長崎県諫早付近に上陸し九州北部を

横断した台風14号は、日本海沿岸沿いに北上しました。

このため本州にかかる前線に台風からの湿った空気が流
込んだ影響で広島県西部の中国山地に大雨をもたらしました。

太田川上流部での集中豪雨と、広島湾の満潮が重なって、
太田川上・中流域は各地で水位が急上昇して氾濫、当学区の
今井田地区や各所で床上浸水等の甚大な被害が発生しました



筒瀬橋の欄干まで約9メートル水位が上昇し、欄干には流木が引っかかり、橋の袂には大木が横たわっていました。

橋の前後の太田川沿いの道路にはガードレールを超えた大木やら大きな石等がゴロゴロと足の踏み場もないくらいの有様でした。

被災した翌々日の9月8日には、地域の有志40名が土砂や家具類などの後片付けに参じました。下記はその時の様子を示した新聞記事です。





太田川沿いの可部宇津線は、旧亀山発電所付近が冠水し護岸も崩れ一時通行止めでした



復旧整備された筒瀬橋

今井田地区堤防建設工事の様子

以上の写真は安佐北区役所、安佐北消防署のご好意により提供頂きました。

八) 平成18年9月16日、台風13号は昨年の台風14号と同じようなルートを辿って九州から中国地方に接近。

数日前から停滞していた秋雨前線を刺激し、17日未明にかけて局地的に200ミリを超える大雨となった。

特に私たちの地域の5～10キロメートル北側の地域では局地的に集中豪雨となり、太田川に注ぐ根の谷川、鈴張川流域は河川の氾濫・堤防や道路の損壊等の土砂災害が発生した。

この大雨により取材中の新聞記者、パトロール中の消防団員の方の尊い命が失われました。

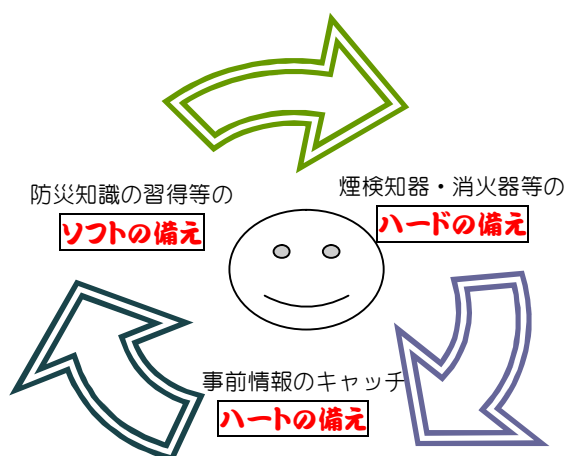
下記は、当時の状況を示す新聞記事です。



以上を念頭に置き、安全で安心して住めるまちづくりの
為に私達は積極的に自主防災会活動を進めています。

・学区全体の活動状況を以下にご紹介します。

活動コンセプト



官と民の自助・互助・共助
を踏まえ、左の三点を有
機的に結合してこそ防災
の目的を果たすことが可
能と考えています！！

平成20年度の活動内容

1. 第6回春季リーダー研修会の開催

日時；平成20年6月14日（土） 午前9時～正午

会場；亀山公民館

人数；63名





対象；主として男性役員のリーダーを対象

内容；イ) ビデオ研修（土砂災害について、自主防災活動の進め方）

ロ) 活動状況発表（河戸、長井、柳瀬、虹山3及び5区）

ハ) 6/29集中豪雨被災状況及び救援活動について

ニ) 私達を取り巻く災害環境について 等々

感想；参加者全員3時間ミッチリ頑張りました。亀山南はこんなに真面目な方々ばかりだったことに感動しました。

2. 第8回生活避難場所マニュアル検証訓練(夜間)

日時；平成20年8月30日（土） 午後5時～9時

会場；近隣避難場所及び亀山南小学校体育館

人数；230名





内容；イ) 炊き出し訓練（昔取った杵柄！！男性のみで実施）

ロ) 避難情報集約

ハ) 研修～ a) A E D 実技訓練

b) 簡易担架や防災器具の使い方

c) 備蓄倉庫の概要説明

d) 巨大地震のビデオ研修 等々

その他；・テレビ会社2社の収録やら、全国紙の取材などがありました。

参加者全員熱心に意識せずに訓練しましたね！！

ご指導頂いた安佐北消防署及び安佐北区役所の皆さんも感心していました。

- ・炊き出し訓練の五目ご飯は美味しかったと大好評でした。
- ・希望者を中心に仮泊訓練も予定しましたが、高齢者が多かった為か予定訓練終了後、蜘蛛の子を散らすように見事に散会されました。やむを得ないかと苦笑を禁じ得ず！！。災害時にはきつとこのように機敏な行動をされるものと期待しています。

3. 第5回秋季リーダー研修会の開催

日時；平成20年12月7日（日） 午前8時半～正午

会場；広島市防災センター

人数；43名





対象；主として女性役員のリーダーを対象

かつ防災センター未体験者

内容；イ) 冬季乾燥時の一般火災・天ぷら火災についての研修

ロ) 地震体験、煙体験

その他；そう言えば昨年も某テレビ会社の収録があり、立派にインタビューに応じておられましたね！！

4. その他の行事への参加

イ) 広島市防災訓練（平成20年9月11日、広島市立大学構内）

ロ) 広島市消防出初め式（平成21年1月5日、広島市民球場）



5. その他の活動

- イ) 亀山南四丁目急傾斜地表層崩壊に関する行政との折衝
- ロ) 螺山々頂部土砂崩れ対策に関する地権者・行政との折衝



上の写真は、平成16年6月に見つかった螺山々頂部の土砂崩れの様子です。直ちに影響あるとは考えられませんが、山の状況はこの50年間で大きく変化しており、平成11年、隣の福王寺山で発生した**6/29土砂災害**の再現が無いことを願って、現在地権者及び当局に対応をお願いしているものです。

最終結論は出ていませんが、皆様のご協力とご支援を戴き、目鼻が付く目前となっています。

課題

- 1, 各単位自主防災会ごとの実態に即した自主防災活動の推進
- 2, 会員自身の防災意識の啓発
- 3, 災害弱者対策

4, 防災器具の整備

等々まだまだ課題山積です

トピック

- 1, 自治体消防制度発足60周年の平成20年3月7日の消防記念日にあたり、亀山南学区は多年にわたり積極的に自主防災活動に取り組んだとして、広島市消防局長殿より感謝状を頂きました。
広島市には136の小学校区がありますが、唯一私たちの住んでいる亀山南学区が受賞したものです。これは偏に地域住民による日頃の地道な自主防災会活動の賜であり、誇りにすべき事柄であると思えます。



- 2, 旧亀山村を中心に地域を守ってくれた『手引き腕用ポンプ』を紹介します。昭和3年から戦後の昭和25年まで活躍したそうです。

